

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月
国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 山梨県 南アルプス市立 芦安小学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒400-0242
山梨県南アルプス市芦安安通335

E-mail : ashiyasu.es.@m-alps.ed.jp

Website : http://www.es-ashiyasu.m-alps.ed.jp/

児童生徒数：男子 9名 女子 14名 合計 23名

児童・生徒の年齢 7歳～12歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育《ESD》《国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動 生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか ()》
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

各プログラムにおいて育成したい力

「人間の活動と自然環境の問題に目を向け、自然環境の保全と持続可能な社会のあり方について考える基礎的な能力を持つ児童」。

プログラムの概要

本校の周囲にある南アルプスの身近な自然を生かした体験活動を通して人間のくらしと環境についての理解・動植物との環境についての理解を深め、自然環境の保全と持続可能な社会のあり方について考える取り組みを行った。

○プログラム1 南アルプス自然体験活動

実施期日 平成23年7月12日（火）及び13日（水）

野外体験プログラムを通して、子どもたちの目の前に広がる南アルプスの豊かな自然を体感させ、自然の大きさ、自然と自分の関係について考える基礎的な感性を養いたい。郷土芦安について再認識し、もっと知りたい、調べたいという郷土学習への意欲を高めたい。学年を超えた集団での活動を通し、感動する心や思いやりの心・協力する心・自律心を育てたい。本プログラムは、このような目的の中、芦安小学校の職員で考えたプログラムであり、5、6年生を対象に実施した。

体験活動1「芦安ウォークラリー」

芦安の自然、環境、文化遺産などをクイズにし、回答しながら目的地まで向かうプログラム。自然環境とともに、山や森と関わって暮らしてきた歴史や文化を学ぶプログラム。



体験活動2「山野草を食べてみよう」

森に生きる植物を採取し、植物の分類を行い、山野草を調理（てんぷら）して味覚で感じるプログラム。



体験活動3 「テントを張ろう」「夕食づくり」

宿泊は、森の夜を感じることができるテントでおこなった。事前に立て方を学習し、子どもたちの力でテントをはることにした。野外での夕食も自分たちで調理することにより、協力することの大切さを学ぶプログラムとした。



体験活動5 「星空観察会」

宿泊地の芦安山岳館から見える夏の星座をじっくりと観察し、地球や宇宙に思いをよせるプログラム。



体験活動6 「自然物を使ったエコ工作をつくろう。」

森の落とし物を利用した工作を作成するプログラム。



2 プログラム2 森林学習会自然教室の実施

実施期日 平成23年10月9日(日)

「児童の目の前に広がる南アルプスの森林は、どのような役割を果たしているのだろうか。」 夜叉神登山や学校林の下草刈り、植林活動を前に、全校で森の動植物に対する学習を森林インストラクターの講師を学校に招き「森の落とし物」という題材で学習をした。日曜日の授業参観の折に実施し、地域の保護者の方々と共に森林について学習を深めることができた。





3 学校林下草刈り 植林活動の実施

実施日 平成23年10月9日(日)

自然教室で森林の役割・森の整備の必要性についての学習を深めたあと、森に入り、本校の学校林の整備活動を行った。森に入る登山の途中で、植物・動物の観察を行った。学校林では、保護者の皆さんと共に下草刈りの作業と同時に人手が入らず荒れていた森を再生する植林活動も行った。



4 夜叉神登山の実施

実施日 平成23年10月12日(木)

本校では、以前から南アルプスの玄関口夜叉神峠を舞台にした自然体験活動として夜叉神登山を行ってきた。今年度は、その登山の前に事前学習として上記の森林学習会を開催したため、児童の森林についての興味関心や自然環境についての理解を深めることができた。



年間プログラムを終えて

本校では今年度、児童の気づき、感じる力、考え、表現する力、関わり、行動する力を児童にはぐくみたいと願い、子どもたちの五感を刺激する自然体験学習をプログラムし、実行してきた。ユネスコスクール加入初年度であり、まだまだ大きな成果として現れているとはいえないが、今後も今年度の取り組みを継続し、系統立てて活動することによって、持続発展の可能な社会形成を担う児童の育成に務めていきたいと考えている。

